

猪名川町国土強靱化地域計画(素案)に対する パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間:令和8年2月10日~3月9日

意見提出者数:1人

提出意見数:6件

■猪名川町国土強靱化地域計画(素案)について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
1	1	-	-	-	-	-	計画全体	<p>近年の災害では、下水道の停止によってトイレが使えなくなり、避難生活が大きく困難になる事例が多く報告されています。</p> <p>防災というと水や食料の備蓄が注目されがちですが、実際の災害ではトイレ問題が非常に深刻になることがあります。特に高齢者の多い地域では、トイレ環境の悪化が健康状態の悪化につながることもあります。</p> <p>そのため・下水道が使えない場合の対応・マンホールトイレの整備・家庭での携帯トイレ備蓄の啓発などについて、住民にも分かりやすい形で防災対策の中に位置付けていただくことが重要ではないかと感じました。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、食料品や飲料水よりも避難所で最優先に必要なとされる物品はトイレ関連物品であり、避難所の現状を踏まえて可能な限り衛生面のことに配慮した最終的な処理まで決定しておかなければ、避難所で生活する方々への健康状態は危ぶまれます。</p> <p>また、猪名川町防災・減災条例第14条第1項に記載されているとおり、町民等に対して防災・減災に関する知識の普及及び啓発に努めなければならないとされており、P2 1-2計画の位置づけに記載の分野別の個別計画である猪名川町地域防災計画に記載を検討するとともに本計画を広く町民の方へ知っていただけるよう周知してまいります。</p>
2	1	6	3	3-1	①	①	猪名川町の地域特性	<p>計画では猪名川町の地域特性として、自然環境に恵まれた地域である一方、山地が多い地域であることが示されています。</p> <p>自治会活動の中で住民の方と話をしていると、自分の家がどのような危険区域にあるのか十分に理解されていない方もおられると感じます。</p> <p>そのため・ハザードマップの周知・地域単位の防災学習・住民参加型の防災訓練などを通じて、住民が地域のリスクを知る取組がさらに進むと、防災力の向上につながると思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、ハザードマップをご覧くださいご自身がお住いの地域特性を理解いただいたうえで防災訓練にご参加いただくことが非常に重要であると考えておりますので、P31 2-3-②地域の防災組織の災害対応力強化に記載の訓練を継続実施し、加えてP24 1-3-② 減災のためのソフト対策に記載の特にWEBで閲覧できるハザードマップの周知を徹底してまいります。</p>

3	1	16	3	3-2	—	—	想定するリスク	<p>計画では、想定される災害リスクとして自然災害への備えが整理されています。</p> <p>近年は豪雨災害が全国的に増えており、河川氾濫のリスクも高まっています。</p> <p>猪名川町には猪名川をはじめとする河川があり、大雨の際には注意が必要な地域もあります。</p> <p>河川整備だけでなく・流域治水の考え方・地域の排水対策・雨水貯留の取組など地域全体で水害に備えていくことが重要だと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、自然災害の備えの中でも特に河川氾濫のリスクを減らすためには、河川整備や護岸整備等のハード事業と治水の考え方に基づいた雨水貯留タンクやため池等を活用するソフト事業を組み合わせることが必要であると考えております。</p> <p>したがって、町といたしましては減災対策としてP23 1-3-①総合的な治水対策に記載の内容を実施してまいります。</p>
4	1	19	3	3-3	—	—	脆弱性評価	<p>計画では脆弱性評価を行い、大規模災害への備えの必要性が整理されています。</p> <p>南海トラフ地震は将来的に発生が懸念されている災害です。</p> <p>猪名川町は海沿いの地域ではありませんが、広域災害として影響が出る可能性もあります。</p> <p>災害対策は「起きてから対応する」のではなく「起きる前の備え」が重要だと思います。</p> <p>耐震化やインフラ整備などの予防的な取組が着実に進められることを期待します。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、南海トラフ巨大地震が発生した際の本町への影響は、P16 ①物的・人的な被害、P17 ②ライフラインの被害・物資の需要量（猪名川町への影響）に記載のとおり、想定しております。</p> <p>その想定に対して、町といたしましても、猪名川町防災会議等の関係機関が集まる協議の場等で、防災・減災の観点から予防的な取り組みについての必要性を伝え、実際に取り組んでいただくよう啓発してまいります。</p>

5	1	—	—	—	—	—	<p>個別避難計画と地域のつながり</p> <p>現在、国では高齢者や障がいのある方など避難に支援が必要な方への「個別避難計画」の作成が進められています。</p> <p>しかし実際には・支援者の確保 ・個人情報 ・地域との連携などの課題があり、全国的にも作成が進んでいない状況があります。</p> <p>猪名川町では自主防災組織と連携した防災活動が行われていると計画にも記載されています。</p> <p>自治会や民生委員など地域のつながりを活かしながら、福祉と防災が連携した避難支援体制が進められることが重要だと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、P35 4-3 - ②災害時要援護者の避難支援体制の構築に記載のとおり、町の方針としては個別避難計画を地域主体で作成できるよう避難支援体制の整備を進めておりますが、ご指摘いただいております課題についても認知しております。</p> <p>町といたしましても、自治会や自主防災会、民生委員やケアマネジャー等と連携し、有事の際、真に共助が必要な方の把握とその方の個別避難計画の作成・更新ができる体制の構築が喫緊の課題であると考えておりますので、防災部局と福祉部局とで連携し関係機関と密に情報共有ができる体制を構築してまいります。</p>
6	1	—	—	—	—	—	<p>能登半島地震の教訓</p> <p>私は今年、能登半島地震の被災地支援に関わる機会がありました。</p> <p>現地で感じたのは、災害は日常の生活を一瞬で変えてしまうということでした。</p> <p>また同時に感じたのは、地域のつながりが残っている地域ほど助け合いが機能していたということです。</p> <p>防災計画は紙の計画だけでなく、地域のつながりの中で実際に動く仕組みが大切だと感じました。</p> <p>猪名川町でも自治会や地域活動を通じて顔の見える関係をつくっていくことが、防災につながるのではないかと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、実際に計画に基づいて行動ができるかの検証をもって計画が完成するものであると考えており、計画に記載されていない臨機応変な対応が必要な内容については地域コミュニティの力の発揮度合いによるかと考えます。</p> <p>P31 2-3-②地域の防災組織の災害対応力強化に記載の訓練を実施する中で、地域コミュニティの力の維持や向上等の相乗効果が図れるよう内容を考えてまいります。</p>